

「国鉄改革とJR

～東海道新幹線から超電導リニアへ～

日時：6月22日(火) 16:50-18:35 (5限)

国際学術総合研究棟4階SMBCホール(20名まで)に
おける対面授業とオンラインでの受講の併用

公共政策大学院では、「国際交通政策」の授業において、下記のとおり、東海旅客鉄道株式会社 名誉会長 葛西敬之氏からお話を伺います。

東京・横浜・静岡・浜松・名古屋・京都・大阪など日本の主要都市が連なる東海道回廊はまさに日本の「頭脳・体幹部」であり、東海道新幹線はその「大動脈」であります。東海道新幹線は比類なき利便性と輸送力をもってこの回廊を一大メガロポリスに変容させ、人々のライフスタイルを形作るとともに、日本経済の発展に貢献してきました。

国鉄の分割民営化を経て発足したJR東海では、編成・車両仕様の統一や品川駅の新設、高速化・高頻度化を実現させ、東海道新幹線システムを完成域にまで高めてきました。

そして現在は、この磨き上げられた東海道新幹線システムに加え、東京～名古屋～大阪間を最高速度500km/hで結ぶ超電導リニアによる中央新幹線計画の実現という新たな飛躍に向けて取り組んでいます。本講義では、講師自身が関わってきた東海道新幹線の進歩と飛躍、超電導リニアの取組みを中心に、国鉄分割民営化からJR東海発展の歩みまでを振り返っていきます。

履修登録者以外の本学学生の参加を歓迎します。(使用言語：日本語、本学学生以外の方の方は参加・アクセス出来ません。)

- ※ 対面授業を希望する学生は、下記アドレスまで、授業前日17時までに連絡すること。先着順に受け付けし、教室の定員を超えた場合にのみ個別に連絡する。
- ※ オンライン授業URLはITC-LMSで確認すること。また、資料はITC-LMSにおいて本科目を仮登録の上、ITC-LMSから入手すること。授業開始の1時間前までを目途に掲示する。

一問い合わせ：交通・観光政策研究ユニット ttpu@pp.u-tokyo.ac.jp



東海旅客鉄道株式会社
名誉会長

葛西 敬之 氏